

# 『詩の世界』

(中学校 1 年生 : 「C 読むこと」)

「絵」を「詩」に変換  
+  
\*数など具体的な言葉  
\*比喩表現 などに注目

ここを  
活用する

絵を見て、読み取ったことや感じたことを  
ふせんに書き出す

目標

× *Customize* カスタマイズする

『この絵、私はこう見る』  
(小学校 6 年生 : 「書くこと」)

\*何 \*だれ \*どこ \*いつ  
\*大きさ \*色 \*色 \*形  
\*音 \*ポーズ \*動き  
\*におい \*天気や温度など  
\*何を表しているか  
\*不思議だ、分からないと感じるところ  
\*絵をかいた人の思い

詩の表現の特徴をとらえ、描かれた情景を想像する

授業の流れ

\*各時間・単元最後の  
自己評価を忘れずに！

第 1 時

1 3 篇の詩を読んで、自分が最も魅力を感じる詩を選ぶ。

2 選んだ詩は、どのような詩なのか、どこに魅力を感じたか  
考え、まとめる。

- ・表現の特徴を見つける。
- ・6 年生の学習を生かして、鑑賞のポイントに沿って  
詩の魅力を探る。
- ・詩の中で、最も気に入っている言葉や表現を見つけ、  
どこが心に響くポイントなのかまとめる。

第 2 時

3 第 1 時の学習を生かして、情景を想像しながら、朗読練習  
をする。

4 学習班で朗読会を行う。(基本は 4 人組み)

- ①朗読する。
- ②詩の魅力、ポイントを伝える。
- ③再び朗読する。

〈自分と選んだ詩と同じ場合〉  
・同じように感じたところ、異なるところは…？  
〈自分と選んだ詩と異なる場合〉  
・「なるほど」など新たな発見 (魅力の気づき)

何をメモする？

つながり  
Connection

Option

『「好きなもの」を紹介しよう』—スピーチをする—

中学校 1 年生「話すこと・聞くこと」

\*直前の「好きなものを紹介する」という学習を生かし、第 2 時の朗読会で好きな詩をスピーチする  
という意識をもたせることで、感性や言葉を磨く道具として「話す・聞く」が活用できます。

『根拠を明確にして  
魅力を伝えよう』  
—鑑賞文を書く—

(中学校 1 年生「書くこと」)